

道民の皆さんへ

交通死亡事故多発・非常事態 緊急メッセージ

十一月三日、本道の交通事故による死者数は百七十二人となり、約二年十か月ぶりに全国ワーストワンになるという、極めて深刻な事態となりました。

これまで、悲惨な交通事故の犠牲者を一人でも減少させるため、関係機関・団体、そして多くの道民の皆さんと交通安全運動に積極的に取り組み、六年連続の「全国ワーストワン回避」に努めてきた中、交通事故の犠牲者は、わずかながら減少するなど、一定の成果は現われておりますが、残念ながら交通死亡事故の増加傾向が他都府県に比べると目立っており、多くの尊い命が失われています。特に、最近の事故の内容をみますと

- 歩行者、自転車利用者が犠牲となる死亡事故
 - 直線道路、カーブにおける路外逸脱による死亡事故
 - シートベルトの非着用による死亡事故
- などが際立っております。

交通事故による犠牲者をこれ以上増やさないためには、道民の皆さん一人ひとりが、交通安全に対する意識を強くもち、交通ルールを守り、正しいマナーを実践することが、何より大切です。

- 特に、運転者、同乗者の皆さんは、
- 一般道路及び高速道路でのスピードダウンを励行し、すべての座席でシートベルトを着用する
 - 交差点では安全確認を徹底する
 - うっかり、ぼんやり、居眠り等での運転は絶対にしない
 - 天候や路面状態に応じた安全運転を行う
- 歩行者、自転車利用者の皆さんは、
- 横断歩道を利用し、左右の安全を確認する
 - 夜間は、明るい色の衣服や夜光反射材を身につける
 - 自転車のときは、左右の安全を確認し、夜間はライトを点灯する
- これらのことを、必ず実践してください。
- 交通事故は決して他人事ではありません。
- どうか、家庭や地域、学校、そして職場などで、交通事故防止の気運を大きく盛り上げていただき、安全で安心な北海道を創るために、一人ひとりが具体的な活動と交通ルールの厳守を実践されるようお願いいたします。

平成二十二年十一月四日

北海道知事 高橋 はるみ
北海道警察本部長 殿 川 一 郎

交通事故概況等について

道環境生活部くらし安全推進課

平成22年11月5日

◎ 交通死亡事故発生状況（概数）

1 (総合)振興局別交通死亡事故発生状況

○ 平成22年中の発生状況（11月4日現在）

区分	空知	石狩	後志	胆振	日高	渡島	檜山	上川	留萌	宗谷	オホーツク	十勝	釧路	根室	全道計
死者数	18	43	14	11	2	11	0	17	2	3	21	20	9	2	173
前年比	-7	+4	+5	-7	-7	±0	-5	+5	-3	±0	+12	+2	-1	-1	-3

2 月別死者数（11月4日現在）

年 / 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	10月末	11月	12月	言十
平成22年	10	16	18	10	12	15	21	25	20	22	169	(4)		173
平成21年	12	7	11	16	15	14	28	22	22	27	174	22	22	218
平成20年	11	11	10	14	15	27	21	24	22	21	176	25	27	228

3 主要都道府県の交通事故死者数

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
平成22年 (11/4) 現在	北海道 173 (-3)	東京 172 (±0)	茨城 169 (-5)	愛知 164 (-19)	大阪 160 (-7)	埼玉 157 (-4)	兵庫 151 (+15)	千葉 147 (-10)	神奈川 139 (-2)	静岡 135 (-14)

※ H21.11.4現在～北海道176人（全国ワースト2位）

（全国ワーストワンの愛知県人との差7人）

4 交通事故死全国ワーストワンに伴う過去の緊急メッセージの発表状況

年度	発表日	発表内容	発表者	発表理由	北海道	関連府県	最終順位
16	6月7日	交通死亡事故多発非常事態 緊急メッセージ	知事 道警本部長	6月5日 全国ワーストワン到達	141人 (+23)	千葉県 141人	1位
19	8月15日	交通死亡事故多発非常事態 緊急メッセージ	知事 道警本部長	8月14日 全国ワーストワン到達	160人 (+16)	大阪府 158人	2位